

高校2年生

・現代社会（担当 大和田）

みなさん、こんにちは。

元気になっていますか？体調はどうですか？

コロナウィルスによる世界的な危機の中で、みなさんもいろいろと我慢しなければならないことがあると思います。しかし、このような状況だからこそ、自宅での時間を意義あるものにしてほしいと思います。

しっかりと課題に取り組んで、休校明けの授業につなげてください。

そして何より、ご家族ともども自身の身を大切にしてください。

元気に再会できるのを楽しみにしています！

課題

今世の中で何が起きているか？これから公民権を得ていくみなさんに、とにかくニュースを観てほしいと思います。ニュースを観て関心を持った記事を挙げて、それについての意見をA4サイズのレポートに400字程度でまとめてください。

（記事の数や、レポートの枚数は特に問いません。）

高校2年3組 日本史B 選択宿題【4月16日】

教科書の379ページの冷戦体制の形成と東アジア～384ページの講和と安保までの範囲を読んで、わからない用語を日本史用語集で調べ、ノートに書きだしてください。

こんにちは。本年度、高校2年3組の日本史を担当することになりました田中です!! コロナウィルス感染拡大で世の中は大変なことになっていますが、皆さんは元気に過ごしていますか？近現代史は入試の頻出度も高いです。まずは教科書の内容をしっかりと押さえましょう。

高2 世界史課題

こんにちは、世界史担当の杉田です。最初の宿題だった「各国別世界史ノート」の穴埋めは終わっているでしょうか。この教材は、みんなぶつかる世界史の壁「それぞれの国の歴史が繋がらない」を克服すべく、選びました。受験まで使える良い教材です。詳しい話は会えた時にしますね。

世界史は、考える題材にたくさん出会える科目です。この人は、この国は、何故こういうことをしたんだろう、とか、自分だったらどうするかな、とか。私は、世界史を学ぶことを通じて、考えることの大切さや面白さを知って、考える力をどんどん伸ばしてほしいと考えています。ですから、世界史と一緒に学んだほうが断然面白い。早く世の中が落ち着いて、一緒に考えながら学びたいと思っています。

休校期間中に学習する内容については、休校明けに試験をする予定です。試験といっても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとっては、学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題です。

- ① 教科書 p.16～24 を読んで、「各国別世界史ノート」の p4～6 の内容を学習してください。その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

【講義動画の紹介】

- ・「Historia Mundi」という先生のYoutube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史 20 話プロジェクト」の、003～007 が今週の内容です。
- ・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）高校生用ページの一番下に世界史があります。第1講の「2 古代オリエント」が今週の内です。

- ② 次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します。

問題「ハンムラビ法典の特徴の一つである、同害復讐法について説明し、この時代にこのような刑法が制定されたことについてどう思うか、あなた自身の考えを述べよ。」

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

世界史B お助けプリント①

(check)の答え ① ティグリス川/ユーフラテス川 ② ウル、ウルク、ラガシュなど
③ 楔形文字/ローリオン ④ プルル/ハンムラビ王 ⑤ ヒッタイト

古代オリエント史

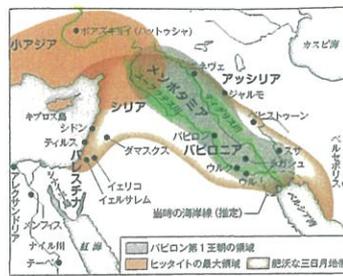
1 古代オリエント史

現在、エジプト、西アジア、トルコなどがあつた地域
「日かぼろヒコ」つまり意味は

教科書 (p16-17). p18-20

1 古代メソポタミアの諸民族と国家

①メソポタミア…「川のあいだの土地」を意味し、(1) ティグリス川・(2)ユーフラテス川流域をさす
→開放的な地域のため、さまざまな民族が移住して多くの国家が成立し、興亡をくりかえす
※「『アムレツ』…メソポタミアからシリア・パレスチナ地方にかけての農耕文明の成立地帯(東洋学者ブレステッドの命名)



古代オリエント地域

②シュメール人の都市国家

①灌漑農業が発達したメソポタミア南部では、前3500年頃から神殿を中心に大村落が形成され、前3000年頃には大村落が都市国家へ発展
→都市国家では王・神官による神権政治がおこなわれ、(4) ジウガタ (聖塔) が建設される
②前2700年頃までに、(5) シュム 人(民族系統不明)がユーフラテス河口の(6) ウル や(7) ウルク、ラガシュなどの都市国家を形成
→(8) シュム 人が創始し、粘土板に記録した(9) 楔形文字は、以後、多くの民族が使用
※19世紀、イギリスの(10) ローリオン がバビストゥーン碑文をもとに(8) 文字を解読

③メソポタミアの統一

①シュメール人の北方に定住する(11) アム 語系の(12) アウカド 人が、しだいに台頭
→前24世紀、(13) サルゴン (王) がシュメール人を征服し、メソポタミア・シリアの都市国家を統一して領域国家を形成するが、王国は前22世紀頃には崩壊
②前22世紀末、アッカド王国の崩壊後にシュメール人がウル第3王朝をたてて、メソポタミア最古の法典とされるウルナム法典を制定するなど勢力を取り戻す
③セム語系の(14) プルー 人は、ウル第3王朝を滅ぼし、前19世紀初めに(15) バビロン (第1) 王朝をたてて、都を(16) バビロン におく
i) 前18世紀頃、第6代(17) ハンムラビ 王が全メソポタミアを統一し、最盛期を迎える
ii) (18) 王は、同書復讐と身分法の原則に基づく(19) 法典を制定 国中からコピーが出土!!
iii) 前16世紀、(20) 王朝は小アジアの(21) ヒッタイト によって征服される 当時は実を言っている人が多かつたのか。

④古代メソポタミアの文化

①都市国家の守護神や自然神をまつる多神教で、支配民族の交替ごとに最高神も変化
②楔形文字がもちいられ、(22) 六十進 法や太陰暦の使用、太陰太陽暦や1週7日制の創始など、天文・暦法・数学・農学をはじめとする実用(23) の学問が発達

⑤周辺諸民族の動向

①(24) ヒッタイト …はやくから(25) 鉄製 武器や戦車をもちいて強大化した(26) 人(インド=ヨーロッパ語系)が、前17世紀半ば頃に小アジア(アナトリア半島)に建国 今、トルコ共和国があつたころ
i) ハットゥシャ(現ボアズキョイ)に都をおき、前16世紀に(27) バビロン (第1) 王朝を征服
ii) シリア方面にも進出し、前13世紀に新王国時代のエジプトの(28) ラムセス とカデシュ

古代オリエント史 5

でたかかって、歴史上初の国際条約を結ぶ

iii) 前12世紀頃、「(29) 海の民」の侵入や内紛によって滅亡
②(30) カッシート 人(民族系統不明)が、イラン高原のザグロス山脈方面からバビロン第1王朝崩壊後のバビロニア(メソポタミア南部)へ侵入
→前16～前12世紀、バビロニアに王朝をたてて同地を支配
③前16世紀、(31) フルリ 人(民族系統不明)が(32) ミタニ 王国を建国
→メソポタミア北部と北シリアを支配し、ヒッタイトに服属するまで強大な国家を維持

ふかしの川は文明が成立した場所のひとつがメソポタミア!! 現在イラクやシリアがあつたところ。
この地域は、東京の1/6位しか雨が降らなかつたので、農業には灌漑が必須だった。灌漑は大規模な工事で、その作業をまとめる「強いリーダー」が現れて、文明が発展した!!

シュメール人の国では、農作物が一度中央の神殿にあつて、人々に配られた。そのため、どこからどなたか運ばれてきたか吉記録しておきたか、と、いうことで、文字が生まれたと言われている。楔形文字は、植物の茎を粘土板において書いて書きた。『この文字』

前19世紀頃にメソポタミアにできた大きな国が、バビロン第1王朝。その国が一番勢いづいてたのがハンムラビ王の時代。王は、全メソポタミアの治水・灌漑を実施!! スゴイ!! として有名なのが、ハンムラビ法典。「目には目玉」が原則の、やらねえでしだけやり返す刑法。野蛮だと思ひますか?? こわいですか?? 刑罰は何かあつた。考えてみて下さい!! ☆

60進法は数が60までで位が上がる数のこと。私たちが普段は10進法ですが、一部では60進法を使つてた。そう、時間!! 小さい頃は数がよくわからなかつた。60秒で1分、60分で1時間。

ヒッタイトはめちゃくちゃ強い民族。鉄製武器があつたから!!
「海の民」は前12世紀にめちゃくちゃ強かつた人々。世界中海で活躍した人々の総称で、いまいろいろわかつていて。でもすごいんです。ヒッタイトも、エジプトも、ギリシアも、この人たちのせいだつた。

check 答えは右上に!!

- ①メソポタミアを流れる、2つの河川をTとんというか。
- ②シュメール人が前2700年頃形成した、代表的な都市国家はどこか。
- ③シュメール人がつくれた文字を何というか。また、その文字の角解読に成功した人は誰か。
- ④バビロン第1王朝は何人の国か。また、その最盛期あときの君主は誰か。
- ⑤前19世紀頃に鉄製武器を使つてめちゃくちゃ強かつた民族は誰か。

このページで紹介する3つの民族は、
 大きく国をつくらなければならぬが、
 貿易などで活躍しました。前12世紀頃に
 「海の民」によってエジプトやギリシアなど大きな文明が
 ぶ壊されたので、重みがシブキになったとあり。

アラム人とフェニキア人は貿易で栄えた。
 アラム人は内陸の貿易、フェニキア人は海上の
 貿易。それぞれの民族が活躍の中心とした都市を
 押し、それぞれ内陸。アラム人のダマスカスは内陸の、
 フェニキア人のシドンとティルスは海上の町である。

ヘブライ人は、現在のユダヤ人につながります。
 ユダヤ教が成立してから、ユダヤ人と呼ばれるように
 なることになりました。

モーセが11代とあってエジプトから脱出した。
 「出エジプト」の途中で、モーセは神から「十戒」を
 授けられたと言われています。「我以外を神としては
 いけない」と「我の象をまつてはいない」とか。
 ヘブライ人は、バビロン捕囚で辛かったとき、
 この10戒の教えを守り、神を信じて耐えました。
 その結果、前6世紀後半、アケメネス朝のキロソス2世によって戻されて
 世紀(Century) 国のため
 もらえました。そのころの感謝が、ユダヤ教の成立につながります。

check 答えはページの右側に!!

- ① アラム人の活躍の中心の都市はどこか。
- ② フェニキア人が貿易で活躍した海の町はどこか。
- ③ ヘブライ人の「出エジプト」を導いた人物は誰か。
- ④ イスラエル王国全盛期の王は誰か。2人答えよ。
- ⑤ ヘブライ人が前6世紀に新バビロニア王国の
 首都に強制移住させられた出来事とは何か。

今の英語がここから来ている!!
 イタリア語

check が答え。

- ① ダマスカス
- ② 地中海
- ③ モーセ
- ④ ダヴィデ/ソロモン
- ⑤ バビロン捕囚

教科書 p21-22

漢字まちがえ
 やめよ!!

2 東地中海におけるセム語系諸民族の活動

① アラム人

- ③ 前1200年頃から、(1) **ダマスカス** を中心に内陸の中継貿易で活躍し、多くの都市国家を建設
- ④ 国際商業語として(2) **アラム** 語が西アジアに広く普及。のち(2) 文字はヘブライ文字・(3) **アラビア** 文字、さらに東方のモンゴル文字などに派生

② フェニキア人

- ③ 前12世紀以降、東地中海沿岸に都市国家を建設し、**クレタ・ミケーネ文明**の衰退後は(4) **シドン**・(5) **ティルス** を中心に地中海貿易を独占
 → 北アフリカ(現チュニジア)の(6) **カルタゴ** など、地中海沿岸に植民市を建設 *その民族が暮らすためにあつた3都市*
- ④ カナン人の表音文字から線状のフェニキア文字をつくり、これが地中海貿易を通してギリシアに伝播して、(7) **アルファベット** の起源となる



③ ヘブライ人

- ③ 前1500年頃、遊牧民だったヘブライ人が(8) **パレスチナ** (カナン) 地方に定住
- ④ ヘブライ人の一部は新王国時代のエジプトへ移住したが、その圧政に苦しみ、前13世紀頃に(9) **モーセ** に率いられて脱出(これを「10 **出エジプト**」)と呼ぶ
- ④ ヘブライ人は前11世紀末頃、イスラエル王国を建設
 → 前10世紀頃、(11) **ダヴィデ** 王とその子の(12) **ソロモン** 王の時代に最盛期を迎え、(11) 王は(13) **エルサレム** を都に定める
- ④ ソロモン王の死後、王国は北の(14) **イスラエル** 王国と南の(15) **ユダ** 王国に分裂
 i) (14) 王国は前722年、(16) **アッシリア** に滅ぼされる
 ii) (15) 王国は前6世紀初め、(17) **新バビロニア** のネボカドネザル2世に征服され、住民の多くは(17) の部バビロンへ強制移住させられる(これを「18 **バビロン捕囚**」)と呼ぶ
 → 前6世紀後半、アケメネス朝の(19) **キロソス2世** によって解放される
 → 解放されたヘブライ人はエルサレムに戻ると神殿を再興し、(20) **ユダヤ** 教を確立

地中海東岸の南。

異民族の反乱も防ごうため、こわい強制移住策はよくあつていました。

ソロモン王が即位した時、人々は不安でした。
 「父王ダヴィデは実か王になつたけど、果たして息子に王が
 つとまるのか?」と。それと人々を安心させるきっかけとしたのが、
 「ソロモンの裁判」という出来事だ。お家にはAとBとくらべて
 いました。AとBも同じ時期に子をもつた。
 双子朝AとBが自覚めると、たまたま子かてなつていました。悲しみにくれた
 AとBは、よく見ると死んだ子は自分の子ではないとわかった。Aは、Bの子を
 ありかたのどと言ふと、Bは言ふめせん。夜中のことなので
 目撃者もいせんし、子はまだ小さ過ぎて、似てるとか似てないとかわかんない。
 さて、この時重たき王ソロモン(はど)おさめると民衆に興味津々だ。
 ソロモンは家来にこつていまして、「お前、飼つてもいい。生きてる子を
 2つに裂き、A-Bそれぞれに与えてやりなさい」と。
 すると、Aは「王様おねがいです。この子をBにあげて、殺してあげなさい」と、
 Bは「この子を私にもAのものにもせず、おつとろい」かけつていまして
 言ひました。さて、本当の母はどつちがわかんないか?
 ソロモンはこの返事をきいて、「この子を生かしてはAに与えよ! Aが母だ!」
 と言ひました。このソロモンの裁判を見て、民衆はみんな安心したのだと

おまけ
 くだ
 だ
 だ

（はじめて）

このページは、XYポタミズ・エジプトなどを統一して支配したアッシリアと、アケメネス朝を極める。

アッシリアは、異民族に対して厳しすぎて、統一後、短命におりました。



アケメネス朝ははじめての王朝!!

ダレイオス1世の時代に王の意志が国のすみずみまで伝わり、王の命令が下りました。これが(1)のi)とii)。

当時は作物の収穫量など、ウツの報告を王に奉じて、王の命令もそれによって悪いこともあったのだ。『お前めいに言え!!』

見張り(玉の目、玉の耳)を置いたのはアケメネス朝のi)の馬車(云々)というのよ。アッシリアのときも出てきたが、道に馬を走らせて、そこで馬の交換やエサの供給を命じられていた。ペルシア下にある道(王の道)が、道がわけています。この約2400kmの道には、11の馬車がつながれています。サレマスからアサバまで、手紙を届けるのに20日かかるといいますか? 普段は90日です。しかし、「お急ぎ便だ」といって、なんと7日!!!で、届いてたわ。急ぎすぎ!!

ゾロアスター教は「拝火教」とも言われます。聖なる火を祀るため、僧侶は長いマスクをしています。



アケメネス朝は異民族に対して寛容だったので、長く続きました。

- checkの答え ① アッシリア ② リディア ③ ネブカドネザル2世 ④ ダレイオス1世 ⑤ ゾロアスター教

3 古代オリエントの統一

教科書 p23-24

① アッシリアによる統一

- ⑨前2千年紀初め、セム語系遊牧民が(アッシリア)王国をメソポタミア北部に建国 → 前15世紀にミタンニ王国に服属したのち、独立を回復
- ⑩前7世紀前半、アッシリア王国は鉄製武器と戦車を持ちて全オリエントを征服・統一

6 古代オリエント史

- i) 建国当時は都をアッシュルにおいたが、のちに(ニネ微)に遷都
- ii) 前7世紀、アッシュルバニパル王が最大版図を現出し、首都に大図書館を建設
- iii) 王国では王が政治・宗教・軍事を管理し、国内を州にわけ、駅伝制を整備して統治
- iv) 服属民への弾圧政策や重税によって反抗をまねき、前612年に崩壊

② 4王国の分立

- アッシリア王国の滅亡後、オリエント世界に4つの国が分立
- ⑪エジプト…都をサイスにおき、エジプト地域を支配
 - ⑫メデア…都をエクバタナにおき、イラン高原を支配
 - ⑬リディア…都をサルデスにおき、小アジアを支配。世界最古の(金属貨幣)を製造
 - ⑭新バビロニア…都をバビロンにおき、メソポタミアを支配
- 最盛期の(ネブカドネザル2世)はユダ王国を征服し、住民を強制移住(バビロン捕囚)

③ アケメネス朝(前550～前330)による再統一

- ⑮前550年、(キロロス2世)がメデアを滅ぼし、(アケメネス)朝(都: スサ)をたてる → 新バビロニア・リディアを征服し、新バビロニア征服時に(バビロン捕囚)を解放
- つぎの王カンビュセス2世がエジプトを征服し、全オリエントを再統一
- ⑯第3代(ダレイオス1世)の時代(位前522～前486)に王朝は最盛期を迎え、エーゲ海北岸からインダス川にいたる大帝國を現出

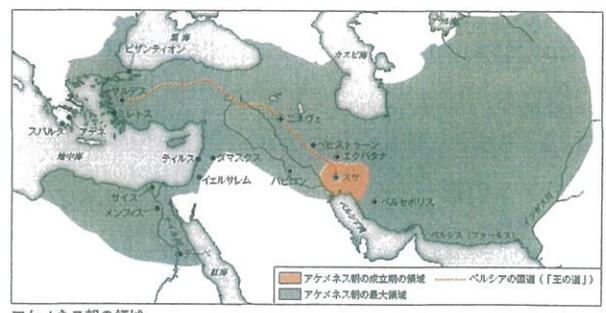
- i) 全国を約20の州にわけて(サトラップ)(知事)をおき、「(玉の目)」「(玉の耳)」と呼ばれる監察官を派遣して、中央集権体制を強化
- ii) 駅伝制を整備し、「(王の道)」と呼ばれる国道(サルデス～ササ)を建設
- iii) 金貨・銀貨を発行し、また、フェニキア人の海上貿易を保護して財政の基礎を確立
- iv) 祭祀のための都として、壮大な宮殿をもつ(ペルセポリス)を建設

⑰アケメネス朝はダレイオス1世の時代にギリシアとの(ペルシア)戦争(前500～前449)を開始し、前5世紀前半を通してたかかろうが、アケメネス朝の敗北に終わる

⑱前4世紀後半、(アレクサンドロス3世)の時代にアレクサンドロス大王の東方遠征で滅亡

⑲文化面では、アケメネス朝時代に(ゾロアスター)教(拝火教)の信仰が広まる

- i) (19)が創始した宗教で、この世は善神(アフラマズダ)と悪神(アヒマズ)とのたえまない闘争とする善悪二元論が特徴
- ※ (19)の生存年代は、前1200～前1000年のあいだとする説と、前630～前553年とする2説があり、未確定
- ii) (19)教の「(最良の審判)」の思想は、ユダヤ教やキリスト教に影響を与える
- iii) (19)教はのちのササン朝で国教とされる



アケメネス朝の領域

check

答えは右にある!!

- ① 前7世紀前半、はじめてオリエント統一に成功した国を誰かというか。
- ② アッシリア滅亡後に成立した4つの国のうち、金属貨幣をつくらなかったこと知られているのはどこか。
- ③ 新バビロニアの国王で、「バビロン捕囚」をした人物は誰か。
- ④ アケメネス朝の全盛期を築いた君主は誰か。
- ⑤ 古代イランで成立した、この世を善神と悪神とのたえまない闘争だと考える宗教を誰かというか。

第1回めの宿題見はコトマ!!

おつかれさまです!!

